

2019. 4月11日.

新入社員と居場所づくり

新年度になりました。

今期は、新卒の社員を10名迎え、会社の基盤となる『人』の強化に力を入れています。外部講師も招き、仕事に取り組む姿勢や、理念の大切さ、リーダーシップなど必死に学んでいる様子が伺えます。

中には既に、リーダーとしての頭角を現し始めている人もおり、とても期待しています。

ハ王子店その子活動は、皆、厳しを感じ、自分と向き合いながら研修する事になると思います。終わる頃には一皮むけて、大きく成長している事でしょう。

是非とも一人も脱落者を出さずに、通過し欲しいと願っています。

さて、入社式で新入社員向けに話した事で、店長たちも聞いている話ですが、これに書いておきたいと思います。

仕事をやる上で、まず最初にやる事は、「居場所作り」と言いました。

これから働いていく上で、居心地の良い環境はとても大切です。

我々慢は続きます。長丁場を嬉しく楽しく働くのに、相手が変わるのを待っても、

一生環境は変わりません。自分が変化するが一番の近道なのです。

相手に問題があるのに、何故私が変わらなくてはならないのか？と感じる方もいる事でしょう。

皆、同じ事を考えています。一人一人、自分に正義があるのです。

視野を広くしてみると、世界で戦争が起こるのも、それぞれの国にそれぞれの正義があり、

一歩も引けない事があるのも原因の一つではないでしょうか

自分から変化するの簡単ではありません。

自らの主張する権利を放棄すると、損した気持ちにもなるでしょう。

今の世の中は、全く逆の思想が蔓延しているからで、

その中で自分は他の人よりも低い立場なのだ。と、考え、平和に物事に進まよう。

力を尽くすには、謙遜さが必要で、謙遜な人は損するでしょうか？

自分が友人にするならば、マウンティングしてくるような自己顕示欲の塊のような人と、

謙虚で謙遜な人、どちらを選ぶでしょうか？

そうですね。謙遜な人には、周りに協力者が自然と集まってくるので、

仮に、立場をふるいかざし、協力者を集める事ができなくても、真の協力を得るは違います。

頼まれた事だけでなく、「何かあの人の助けになってあげたい」「何か手伝える事はありますか」という気持ちにさせるので、心から応援される人になるので、

そのような人は、自分の仕事も、成功裏に進める事が容易にならなす。リーダーとしての資質も、協力者が多一人の方が自分の実力はほど無くとも大きな成果を残すでしょう。

では、謙遜になり、とにかく人に合わせてトラブルにならないように立ち回れば良い、という事なのでしょうか？

魚の群れは、泳いでいるお互いにぶつかる事は無いそうです。それは、腹の横の部分にある側線という器官のおかげのようです。

僅かな水流の変化を感じ取り瞬時に方向転換するので、隣にいる魚との距離を一定に保てるそうです。

人間も、あたかも側線が対しているように、その距離をとったり、話し詰めたりすれば良いと思いませんか？ 本当に良い関係を築くには、そうはならないです。

河原の石に於て.. (松下幸之助さんだっただけ思い出せませんが) という言葉があります。

川の上流にある石は、角がありゴツゴツとしていますが、押し流されていくうちに、他の石と接触し、自分の形を変えながら下流へと移動していきます。

下流へと流れていく頃には美しい丸い形に整えられているのです。

問題が生じる度に、相手の気持ちも聞き、自分の気持ちも話し精一杯努力して相手との関係の改善を図ることで、自分を丸く変化させるのです。謙遜でなければ変化できず、

一人、ゴツゴツとしたまま上流に留まってしまう..

皆がその努力を払う事で、まん丸の石がびっしりと並ぶ、美しい光景が職場内に見えてくるのではないのでしょうか？

勿論、各店の責任者はこのような平和を作り出す上で、模範となるべきです。

さて、3人活動の研修が終わり、配属店に入店した時に、

ガッカリした。やる気が失せた。研修で教わった事を店が(先輩が)やっていない。

初歩的なマナーすら新人の自分よりも出来ていない。なんて言われる事は無いでしょうか？

今までのような教育プログラムが無かったから育たなかった...

などと、育成できなかった言い訳はもう通用しません。

立派な研修室も完成しました。

新卒入社の子供ある若者が、定年まで嬉しく楽しく活躍できるよう、店全体のレベルも上げ、責任を持って叩いてください。